

必読

コロナウイルスの感染拡大により臨時休業中となっています。不要不急の外出や密集を避けるために、自宅で過ごす時間が長くなっているかと思えます。この期間を有効に活用できるように家庭学習プリントを配布します。

前回は文法や熟語・敬語など言語に関するものが多かったのですが、今回は国語科の本文である**長文読解力を高めるプリント**にしました。文章問題は文章の著作権に関わるため問題を簡単には作れませんが、今回は新しい教科書を配布できるように作成できた次第です。

国語の「読解力」の本質は、「**初読の文章を読み解く**」に尽きます。授業でくり返し読んだ文章について期末テストで解答することは基本的に国語の本質からはズレていることになります。そういった意味で今回のプリント学習は読解力を養う良い機会にもなるかと思えます。今までの言語事項プリントに比べると時間がかかりますが、時間はたつぷりとあるはずです。下の留意点に従ってしっかりと頑張りなさい。

努力の成果は加速して現れる

「たゆまざる

歩みおそろー

蝸牛」

かたつむり

〔留意点〕

- ① このプリントは国語科として大きく評価します。
 - ② 提出は新学期の最初の国語の時間です。
 - ③ プリントに記された教科書のページを読んで解答してください。この「教科書」を読むという行為自体の積み重ねが訓練なのです。
 - ④ 基本的に模範解答はつきません。文章読解の本質は正解を知ることではなく、**独力でどれだけ読み解いたか**に尽きるからです。毎日ジョギングするばその人なりに速くなるように、毎日読み解けばその人なりに読解力が高まり、それが他教科の理解にも影響します。
 - ⑤ そのために解答欄には、間違えていてもよいから必ず自分で考えた解答を記してください。**空欄があるプリントは受け付けない**ので評価できません。評価するのは**正解か不正解ではなく、読解力を身につけようと努力した姿勢**です。
 - ⑥ 下段には漢字も付け加えてあります。
 - ⑥ 仕上げた枚数で評価（ただし、上段・下段とみに書かれていること）するので、最後までいなくても途中まで行ったプリントを提出すればその分の評価をします。
- 急いで作ったので誤字脱字等にご容赦を。

3 年 組 番 氏 名

評価（完成提出枚数）

文章読解プリント① 『握手』 P 18

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問 1 18 ⑩ 「その手を見て思わず顔をしかめた」とあるが、どうしてか。文章中から十
六字で抜き出せ。

問 2 19 ⑨ 「彼の握力は万力より強く、・・・腕がしびれた。」とあるが、ルロイ修道士
の握手にはどんな気持ちが進められているか。記号で選べ。

- ア 「わたし」をおもしろがせて、楽しませようという気持ち。
イ 「わたし」に親愛の情を示し、安心させようという気持ち。
ウ 「わたし」に自分の権威を示し、従わせようという気持ち。
エ 「わたし」を驚かせて、強く印象づけようという気持ち。

正解は
イ

問 3 20 ② 「それは実に穏やかな握手だった。」とあるが、その様子をたとえを用いて説
明している部分を文章中から抜き出せ。

助動詞「れる・られる」受け身・自発・可能・尊敬

問 線部の助動詞の特定の意味を書け。ただし助動詞でなければ×をつけよ。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ① みんなに笑 <u>われる</u> 。 | ② 乗客の安否が心配 <u>される</u> 。 |
| ③ 大臣が視察に来 <u>られる</u> 。 | ④ この薬は混ぜ <u>られる</u> 。 |
| ⑤ ロープを上手に登 <u>れる</u> 。 | ⑥ 買い物に付き合 <u>わされる</u> 。 |
| ⑦ 天皇が崩御 <u>される</u> 。 | ⑧ 一人でも生き <u>られる</u> 。 |

① 受け身	② 自発	③ 尊敬	④ 可能	⑤ ×	⑥ 受け身	⑦ 尊敬	⑧ 可能
可能動詞							

漢字書きプリント④（間違えやすい漢字１くり返し）

かんしような曲		感傷	ほけん所		保健
植物かんしよう		観賞	とくちようのある字		特徴
音楽かんしよう		鑑賞	とくちようを生かす		特長
注意をかんきする		喚起	ぜったい絶命		絶体
教室のかんき		換気	ぜったいに勝つ		絶対
教育かてい		課程	稲のせいちよう		生長
努力のかてい		過程	子どものせいちよう		成長
扉のかいほう		開放	しゅうかん誌		週刊
人質かいほう		解放	交通安全しゅうかん		週間
要求にかいとうする		回答	試合さいかい		再開
試験問題のかいとう		解答	旧友とのさいかい		再会
人事いどう		異動	百メートルきようそう		競走
車でいどうする		移動	生存きようそう		競争
身体のいじよう		異状	蒸気きかん車		機関
いじよう気象		異常	開催きかん		期間
賛成のいし表示		意思	絶好のきかいだ		機会
いしが強い		意志	さかい体操		器械
いぎを唱える		異議	農業のきかい化		機械
いぎのある仕事		意義	友達のかんしんをかう		歓心
彼いがいはできた。		以外	かんしんな子ども		感心
いがいな出来事		意外	花にかんしんを持つ		関心

※ 書けなかった漢字を繰り返し！

文章読解プリント② 『握手』 P 18

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問 1 21 ㉔ 「総理大臣のようなことを言っではいけませんよ。．．．それだけのことから。」とあるが、この言葉からルロイ修道士のどんな考え方がわかるか。記号で二つ選べ。

- ア 人は皆、一人一人の人間であり、区別できるものではない。
- イ 正しい行いとは、時代や文化によって違ってくるものだ。
- ウ 独りよがりな、自分が代表のようにものを言うのは傲慢だ。
- エ 悪いのは戦争であり、戦争中のことを弁解する必要はない。
- オ 年上の人の言うことには、素直に耳を傾けるべきである。

正解は
ア
ウ

問 2 22 ㉔ 「わたしは、はてなと心の中で首をかしげた。」とあるが、それはなぜか。文章中の言葉を使って書け。

問 3 22 ㉔ 「二度だけ、ぶたれました。」とあるが、それを聞いたときのルロイ修道士の気持ち分かる言葉を七字で抜き出せ。

助動詞の暗記

問 それぞれの助動詞の特別な意味を書け。

れる・られる	受け身・自発・可能・尊敬
せる・させる	使役
たい・たがる	希望
ない・ぬ	否定
う・よう	意志・勧誘・推量

文章読解プリント③ 『握手』 P 18

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問 1 23 ⑬ 「平手打ちよりこつちのほうがこたえましたよ。」とあるが、ここから「わたしたち」の、ルロイ修道士に対するどんな気持ちかわかるか。記号で選べ。

- ア ルロイ修道士に反発する気持ち。
- イ ルロイ修道士を恐れる気持ち。
- ウ ルロイ修道士を軽んじる気持ち。
- エ ルロイ修道士をしたう気持ち。

正解は
エ

問 2 24 ⑫～⑭ 「仕事がうまくいかないときは、・・・この言葉を忘れないでください。」の「この言葉」とはどんな言葉か。文章中から抜き出せ。

問 3 28 ① 「それでも足りずに、腕を上下に激しく降った。」とあるが、どんな気持ちからこうしたのか。自分の言葉で書け。

助動詞の暗記

問 それぞれの助動詞の特別な意味を書け。

た(だ)	確認・過去・完了・存続
ます	丁寧
だ・です	断定
らしい・ようだ・そだ	推定・比況・様態・伝聞
まい	否定推量・否定意志

漢字書きプリント⑤（間違えやすい漢字2くり返し）

生命ほけん		保険	友人にあう		会う
生活をほしょう		保障	災難にあう		遭う
品質をほしょう		保証	年があける		明ける
損害をほしょう		補償	門をあける		開ける
やせい動物		野生	席をあける		空ける
やせいな人		野性	腕をあげる		上げる
ようけんを述べる		用件	例をあげる		挙げる
ようけんを満たす		要件	旗をあげる		揚げる
よち能力		予知	あたたかい料理		温かい
弁解のよちがない		余地	あたたかい気候		暖かい
そうぞうを絶する		想像	あつい湯		熱い
天地そうぞうの神話		創造	あつい本		厚い
切手しゅうしゅう		収集	答えをあやまる		誤る
しゅうしゅうがつかぬ		收拾	失礼をあやまる		謝る
こういを持つ		好意	言葉にあらわす		表す
こういに感謝する		厚意	正体をあらわす		現す
身体けんさ		検査	小説をあらわす		著す
しけんに受かる		試験	成果をおさめる		収める
質素けんやく		儉約	会費をおさめる		納める
しんけんに生きる		真剣	国をおさめる		治める
計算があう		合う	学問をおさめる		修める

※ 書けなかった漢字を繰り返し返せ！

文章読解プリント④ 『学びて時にこれを習ふ』 P 32

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 次の訓読文を書き下し文にせよ。

子曰。^{ハク} 學^{ビテ} 而^ニ 時^フ 習^{これヲ} 之[。] 不^{また} 亦^{バシカラ} 説^や 乎[。]

① ヒント 「而」は置き字だから読まないぞ。

子曰。^{ハク} 溫^{メテ} 故^{キヲ} 而^{レバ} 知^{シキヲ} 新^{ベシト}、 可^テ 以^{タル} 為[。] 師[。] 矣[。]

②

問2 問1の二つの言葉の意味を教科書を参考にして自分の言葉で美しく書け。

①

②

助動詞「う・よう」意志・勧誘・推量

問 線部の助動詞の特定の意味を書け。ただし助動詞でなければ×をつけよ。

- ① さあ、出かけようよ。 ② 君は、優勝するだろう。
- ③ 僕も今日から真面目になろう。 ④ 二人で買い物に行こうね。
- ⑤ 一人でやってみよう。 ⑥ おそらく雪になろう。

① 勧誘
② 推量
③ 意志
④ 勧誘
⑤ 意志
⑥ 推量

漢字書きプリント⑥（間違えやすい漢字3くり返し）

予定をかえる		変える	委員長をつとめる		務める
乗りかえる		換える	銀行につとめる		勤める
服を着がえる		替える	資格をとる		取る
挨拶にかえる		代える	決をとる		採る
団結がかたい		固い	事務をとる		執る
かたい木を切る		堅い	魚をとる		捕る
表情がかたい		硬い	写真をとる		撮る
災害にそなえる		備える	解決をはかる		図る
お墓にそなえる		供える	時間をはかる		計る
友達をたずねる		訪ねる	重さをはかる		量る
道をたずねる		尋ねる	距離をはかる		測る
役にたつ		立つ	時間がはい		早い
家がたつ		建つ	駆け足がはい		速い
お酒をたつ		断つ	やさしい人		優しい
連絡をたつ		絶つ	やさしい問題		易しい
羽田をたつ		発つ	紙がやぶれる		破れる
気がつく		付く	試合にやぶれる		敗れる
席につく		着く	計画をすすめる		進める
職につく		就く	入会をすすめる		勧める
説得につとめる		努める	彼を主将にすすめる		薦める

※ 書けなかった漢字を繰り返し！

文章読解プリント⑤ 『学びて時にこれを習ふ』 P 32

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問 1 次の訓読文を書き下し文にせよ。

子曰、学而不思則罔、思而不学則殆。
ハク ビテ レバ ハ チ シ ヒテ レバ バ チ シト

問 2 問 1 の言葉の意味を教科書を参考にして自分の言葉で美しく書け。

問 3 「学びて時にこれを習ふ、また説ようこばしからずや」となるように、訓読文に返り点を付けよ。

子曰。ハク 學ビテ而時習之。ニ フ これヲ 不また亦説バシカラ乎。や

助動詞「ない・ぬ」否定

問 次の「ない」は形容詞・助動詞のどちらか。○で囲め。

- ① 本が無い。 (形容詞 助動詞)
- ② 夢がない。 (形容詞 助動詞)
- ③ 美しくない。 (形容詞 助動詞)
- ④ 静かでない。 (形容詞 助動詞)
- ⑤ 笑わない。 (形容詞 助動詞)

形容詞	形容詞	形容詞	形容詞	助動詞
				笑わぬ

文章読解プリント⑥ 『挨拶』 P102

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 「友よ」とは誰を指すか。記号で答えよ。

- ア 死んでしまったすべての人たち
- イ 生きているすべての人たち
- ウ 死んでしまった人も生きている人もすべて
- エ 鏡に映った作者自身

問2 「火の跡もとどめぬ すこやかな今日の顔 すがすがしい朝の顔」とは何か。記号で答えよ。

- ア 火傷や怪我の跡の無い顔
- イ 戦争や原爆を知らない顔
- ウ さわやかで涼しげな顔
- エ まだ互いに見たこともない顔

問3 「明日の表情」とは何か。記号で答えよ。

- ア 明日、何が起こるかを期待している表情
- イ 明日、何が起こるかを不安に思う表情
- ウ これからの日本
- エ 過去にとらわれない表情

問4 「りつぜん」の意味が示す様子を記号で答えよ。

- ア 怒りに身を震わせる様子
- イ 恐ろしさで身の震える様子
- ウ 期待と楽しみで手が震える様子
- エ 期待と不安が折り混じった様子

問5 「りつぜんとする」理由について（ ）に入る語を文章中から抜き出して書け。

地球上には（ ）が（ ）もあり、私たちはそれによる（ ）の危険と隣り合わせにあるから。

助動詞「た(だ)」確認・過去・完了・存続

問 線部の助動詞の特定の意味を書け。

- ① 帰ったら知らせます。
- ② いま駅に着いた。
- ③ 去年はアメリカに行った。
- ④ 前面に掲示された教育目標。
- ⑤ 試合に負けましたね。
- ⑥ 開け放たれた窓をしめる。

問4	問3	問2	問1	正解は
イ	ウ	イ	ア	

- ① 完了
- ② 完了
- ③ 過去
- ④ 存続
- ⑤ 確認
- ⑥ 存続

文章読解プリント⑦ 『挨拶』 P102

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 P104L2の「何か」とは何か。自分の言葉で書け。

問2 「見きわめなければならぬものは目の前にえり分けなければならないものは手の中にある」とはどういう意味か。記号で選べ。

- ア 私たちが力を合わせれば、問題は解決できる。
- イ 私たちが真偽を検討し、判断すべき問題は身近にある。
- ウ 私たちが将来研究すべき問題はほかにも数多くある。
- エ 私たちが解決すべき問題はそれほど多くないはずだ。

正解は
イ

問3 「午前八時一五分は毎朝やってくる」とはどういう意味か。自分の言葉で書け。

助動詞の種類の暗記

問 それぞれの特定の意味を持つ助動詞を書け。

	受け身・自発・可能・尊敬	れる・られる
使役	せる・させる	
希望	たい・たがる	
否定	ない・ぬ	
意志・勧誘・推量	う・よう	
確認・過去・完了・存続	た(だ)	
丁寧	ます	
断定	だ・です	
推定・比況・様態・伝聞	らしい・ようだ・そだ	
否定推量・否定意志	まい	

文章読解プリント⑧ 『故郷』 P106

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 『故郷』を読んで四つの意味段落に分けよ。

第一場面	はじめ	〽	P		L
第二場面	P	〽	P		L
第三場面	P	〽	P		L
第四場面	P	〽	おわり		

問2 この作品は、中国清朝末期から中華民国が誕生するころの話である。中国がアヘン戦争・日清戦争と立て続けに敗れ、国家が揺らいでいるときである。作者魯迅は中国を政治ではなく文学で立て直そうと考えた人物であった。そういった状況も踏まえて右の四つの場面に題名をつけるとすると、各段落につける題名はどんなものが良いか、自分の言葉で書け。

第一場面	「 帰郷 」
第二場面	「 回想 」
第三場面	「 」
第四場面	「 」

形容動詞

問 形容動詞なら○、そうでなければ×をつけよ。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 天気だ () | ② 変だ () |
| ③ 平和だ () | ④ 机だ () |
| ⑤ 下だ () | ⑥ 丁寧だ () |

⑥	⑤	④	③	②	①
○	×	×	○	○	×
		×	×	○	×
		下な	机な	変な	天気な

文章読解プリント⑨ 『故郷』 P106

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問 教科書109ページの回想部分でルントウが話す四つの不思議な場面・生き物を絵に描け。

「鳥捕り」	「チャー」
「貝殻拾い」	「跳ね魚」

助動詞「らしい・ようだ・そうだ」推定・比況・様態・伝聞

問 線部の助動詞の特定の意味を書け。ただし助動詞でなければ×をつけよ。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| ① 作戦は失敗だ <u>そうだ</u> 。 | ② どうやら事故の <u>ようだ</u> 。 |
| ③ このビルは倒れ <u>そう</u> だ。 | ④ 作戦は失敗し <u>そう</u> だ。 |
| ⑤ あの映画はつまらない <u>らしい</u> 。 | ⑥ 彼はとても男 <u>らしい</u> 。 |
| ⑦ ビルのライトがまるで星の <u>ようだ</u> 。 | |

- | |
|---------|
| ① 伝聞 |
| ② 推定 |
| ③ 様態 |
| ④ 様態 |
| ⑤ 推定 |
| ⑥ × 形容詞 |
| ⑦ 比況 |

文章読解プリント⑩ 『故郷』 P106

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 教科書114ページ13行目「何かでせき止められたように」の何かとは何か。自分の言葉で書け。

問2 同ページ15行目「喜びと寂しさ」とはそれぞれ何に対する喜び・寂しさか。自分の言葉で書け。

「喜び」	「寂しさ」
------	-------

問3 同ページ15行目「唇が動いたが、声にはならなかった」とあるが、このときレントウは何と言おうとしたのか。自分の言葉で書け。

形容詞・形容動詞の活用表

問 形容詞・形容動詞の活用表を完成させよ。

※ 正解は教科書226。

例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
美しい							
静かだ							
静かです							

文章読解プリント⑪ 『故郷』 P106

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 119ページ14行目の「金色の丸い月」とは何の象徴であるか。

問2 最後の「もともと地上には・・・」とはどういう意味か。自分の言葉で書け。

動詞・形容詞・形容動詞の活用表

問 次の活用表を完成させよ。

※ 正解は教科書225頁。

例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	活用の種類
行く								
生きる								
出る								
来る								
する								
明るい								
爽やかだ								
重要です								

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

① 二堂とは何と何か書け。

と

[illegible]

次の副詞の種類を○で囲め。

狀態

狀態

呼応

程度

狀態

程度

文章読解プリント⑬ 『作られた「物語」を超えて』P158

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問1 158①「私たちは、野生動物を誤解することがよくある。」とあるが、誤解の例としてどんなことが挙げられるか。文章中の言葉で書け。

・ ライオンやトラ・・・

--	--

な動物と見なす。

・ キツネやタヌキ・・・

--	--

な動物と見なす。

問2 158②「人間が彼らを追い詰めて敵対的な行動を取らせ・・・解釈してきた。」ことを、筆者はなんとたとえているか。文章中から十字で抜き出せ。

問3 161⑱ 言葉には「自分が体験したことを語ることかできる。」性質がある一方で、どんな力もあるか。文章中から抜き出せ。

--

代名詞と連体詞

問 次の中で代名詞ではないものをさがし○で囲め。

これ あれ この その あっち そちら あの どれ どれ

私 あなた 彼 彼女たち 誰 我が輩 我が国

これ あれ この その あっち そちら あの どれ どれ

私 あなた 彼 彼女たち 誰 我が輩 我が国

※ 代名詞は主語になるので「くが」となるが、連体詞は修飾語になるので「くが」が付けられない。

文章読解プリント⑭ 『作られた「物語」を超えて』P158

※ 大切なのは読み解いて書くことだ。正解・不正解はほとんど関係ない。

問 全体の構成をつかみ、それぞれに該当する形式段落番号を○で囲め。

結論	本 論		序論	部 分
	人間の性質	ドラミングに対する誤解と真実		
①	①	①	①	該当する形式段落番号
②	②	②	②	
③	③	③	③	
④	④	④	④	
⑤	⑤	⑤	⑤	
⑥	⑥	⑥	⑥	
⑦	⑦	⑦	⑦	
⑧	⑧	⑧	⑧	
⑨	⑨	⑨	⑨	
⑩	⑩	⑩	⑩	
⑪	⑪	⑪	⑪	
⑫	⑫	⑫	⑫	

動詞の活用形と活用の種類

問 線部の動詞の活用表と活用の種類を書け。

- ① 彼はよく笑います。
② ゆつくりと歩こう。
③ しつかりと生きる。
④ 怒るときもある。
⑤ 大きな声で話さない。
⑥ 食べればわかる。
⑦ もっと努力をしろ。
⑧ 相手をよく見ない。
⑨ 今から彼が来ます。
⑩ しつかりと立て。

連用形	連用形	未然形	命令形	仮定形	未然形	連体形	終止形	未然形	連用形
五段活用	力変	上一段活用	サ変	下一段活用	五段活用	五段活用	上一段活用	五段活用	五段活用

漢字書きプリント⑩（入試によく出る漢字１くり返し）

家計をささえる		支える	ざっしを編集する		雑誌
手紙がとどく		届く	おさない子ども		幼い
せんもん家		専門	機械をそうじゆうする		操縦
生活をいとなむ		営む	意見をはんえいする		反映
寒さがきびしい		厳しい	汚れをとりのぞく		除く
手を振ってまねく		招く	料理を皿にもる		盛る
木の実をひろう		拾う	解決がむずかしい		難しい
辞書をかりる		借りる	約束をわすれる		忘れる
朝日をあびる		浴びる	うちゅう飛行士		宇宙
解決はよいいだ		容易	番組のていきよう		提供
きけんな道路		危険	作品のひひよう		批評
平和にくらす		暮らす	ふんきを促す		奮起
かんたんな方法		簡単	芸がこまかい		細かい
荷物をあずける		預ける	いきおいをつける		勢い
石垣をきずく		築く	屋根に雪がつもる		積もる
説明をおぎなう		補う	鐘がなる		鳴る
母校をおとずれる		訪れる	家族をやしなう		養う
えんそう会に行く		演奏	劇のしょうたい券		招待
意見がことなる		異なる	議会にていあんする		提案
何度もこころみる		試みる	べんりな道具		便利

※ 書けなかった漢字を繰り返せ！

漢字書きプリント⑪（入試によく出る漢字2くり返し）

おうふく切符		往復	やくそくを守る		約束
たしかな答え		確かな	責任をはたす		果たす
水がたれる		垂れる	海辺ですごす		過ごす
夕日にそまる		染まる	危機をすくう		救う
ひたいのしわ		額	全校生徒につげる		告げる
人口がへる		減る	赤みをおびる		帯びる
子は親ににる		似る	あとをおう		追う
セーターをあむ		編む	球がころがる		転がる
野鳥のかんさつ		観察	紙がもえる		燃える
早起きのしゅうかん		習慣	試験にそなえる		備える
心に深くきざむ		刻む	責任をおう		負う
食事がすむ		済む	公園であそぶ		遊ぶ
すがたが消える		姿	心情をそうぞうする		想像
入部をみとめる		認める	正しいはんだん		判断
時間をついやす		費やす	知識がほうふだ		豊富
しげんを大切に		資源	名前をよぶ		呼ぶ
偉大なそんざい		存在	快い風が吹く		快い
内容をうたがう		疑う	海にのぞむ家		臨む
むねに手をあてる		胸	車がこしようする		故障
変化がはげしい		激しい	生徒会長のこうほ		候補

※ 書けなかった漢字を繰り返し！

漢字書きプリント⑫（入試によく出る漢字3くり返し）

返事にこまる		困る	ごくそう地帯		穀倉
ゴミをすてる		捨てる	熱戦をてんかいする		展開
かちのある発見		価値	なつとくのいく話		納得
めんみつな調査		綿密	あぶない橋を渡る		危ない
英単語をおぼえる		覚える	すこやかな心		健やか
そばへ引きよせる		寄せる	ほがらかに笑う		朗らか
羊のむれを追う		群れ	文化いさん		遺産
学習のこうか		効果	おんだんな気候		温暖
池のしゅうい		周囲	きぼが大きい工事		規模
番号を○でかこむ		囲む	役所にきんむする		勤務
結論をみちびく		導く	こんなんな仕事		困難
下級生をひきいる		率いる	じしゃくに鉄がつく		磁石
いがいな結果		意外	宇宙のしんぴ		神秘
けいけんを生かす		経験	模倣とそうぞう		創造
せきにんを果たす		責任	人権のそんちよう		尊重
紙が水をすう		吸う	たんじゅんな考え		単純
セーターがちぢむ		縮む	野菜をちよぞうする		貯蔵
おなががいたい		痛い	実力をはつきする		発揮
やさしい入門書		易しい	みっせつな関係		密接

※ 書けなかった漢字を繰り返し！

漢字書きプリント⑬（入試によく出る漢字）

仕事をゆだねる		委ねる	野球のれんしゅう		練習
びょういんに行く		病院	ろじを右に曲がる		路地
いんしよく店に勤務		飲食	いとしい人に会う		愛しい
プールでおよぐ		泳ぐ	体育祭のあんを作る		案
にもつを運ぶ		荷物	いが痛くなる		胃
かいだんを下る		階段	数おく円の価値がある		億
たいいくかんで走る		体育館	かもつ列車に乗る		貨物
6時にきしようにする		起床	新しいかだい		課題
学問をきわめる		究める	花がめぶく		芽吹く
ぶんぼうぐ店に勤める		文房具	駅のかいさつを抜ける		改札
感覚をとぎ澄ます		研ぎ	きかいの操作に慣れる		機械
みずうみが見える		湖	目がさめる		覚める
夏はとてもあつい		暑い	食道のくだが詰まる		管
机上をせいりする		整理	こつきを掲げる		国旗
宇宙の果てをそうぞう		想像	かいぎに参加する		会議
ひとりむすこ		息子	きゆうきゆう車が通る		救急
てちように予定を記す		手帳	手をあげて発表する		挙げ
おゆを沸かす		お湯	遠洋ぎよぎよう		漁業
のうかで作ったお米		農家	スピードをきそう		競う
手紙をはいふする		配布	栄華をきわめる		極める

※ 書けなかった漢字を繰り返し返せ！

漢字書きプリント⑭ (入試によく出る漢字)

避難くんれん		訓練	お金をかす		貸す
交番をけいゆして行く		經由	お金をかりる		借りる
けいきが下がり気味だ		景気	機嫌をそこねる		損ねる
けんこうに気を遣う		健康	城をきずく		築く
仕事をやめる		辞める	宿題をていしゆつする		提出
さんぎょうの復興		産業	災害にそなえる		備える
しけん勉強を頑張る		試験	ひょうばんが良い		評判
じどう会長を務める		児童	まずしい心		貧しい
じしよで調べる		辞書	雑誌のへんしゅう		編集
ペンをかりる		借りる	ぼうえきの仕事		貿易
かくごを決める		覚悟	てんらん会に出品する		展覧
すこやかに成長する		健やか	本をあらわす		著す
実験をこころみる		試みる	敵をうつ		討つ
態度をあらためる		改める	のうに栄養を与える		脳
税金をおさめる		納める	神仏をすうはいする		崇拝
時間をついやす		費やす	彼の行動をひはんする		批判
お金をためる		貯める	ひみつの情報		秘密
けんきゅう成果を発表		研究	欠点をおぎなう		補う
いのちをすくう		救う	彼の家をおとずれる		訪れる
駐車場に車をとめる		停める	海にのぞむ家		臨む

※ 書けなかった漢字を繰り返し返せ！

漢字書きプリント⑮（入試によく出る漢字）

教室をいどうする		移動	委員長をつとめる		務める
なんい度が低い		難易	米のゆにゆう		輸入
こころよく引き受ける		快く	よきん額を調べる		預金
やさしい問題		易しい	一部をしょうりやく		省略
ぎゆうにゆうを飲む		牛乳	りよういきを侵犯する		領域
方法をかくにんする		確認	古代いせき		遺跡
症状がかいふくする		回復	ちいきに貢献する		地域
問題をとく		解く	時間をえんちようする		延長
せいかくな情報		正確	文字をかくだいする		拡大
ひたいに汗する		額	かんご師の仕事に就く		看護
しゅうかん紙を読む		週刊	かんたんな仕事		簡単
猛練習になれる		慣れる	仲間をしきする		指揮
きそく正しい生活		規則	銀行につとめる		勤める
外出をきよかする		許可	けいさつ官になる		警察
いさぎよい態度		潔い	げんかくな父親		厳格
身体けんさをする		検査	ごかいをまねく		誤解
人口がげんしょうする		減少	こくそう地帯		穀倉
要人をごえいする		護衛	仕事がすむ		済む
薬のこうがなくなる		効果	さいほうが得意だ		裁縫
友情にあつい		厚い	党のせいさを聴く		政策

漢字書きプリント⑩（入試によく出る漢字）

田畑をたがやす		耕す	じしゃくが北を指す		磁石
地下鉄のこうない		構内	ゴミをすてる		捨てる
産業をおこす		興す	お金をひろう		拾う
大学のこうぎを受ける		講義	仕事につく		就く
道路がこんざつする		混雑	命令にしたがう		従う
植物をさいしゅうする		採集	横よりたてが長い		縦
ざいさんを増やす		財産	幅をちぢめる		縮める
意見にさんせいする		賛成	警察しよちよう		署長
自宅で犬をかう		飼う	しょうがい物競争		障害
じょうしきに欠ける		常識	水がじょうはつする		蒸発
相手にしやざいする		謝罪	彼を学級委員におす		推す
賞状をさずける		授ける	世界人權せんげん		宣言
学問をおさめる		修める	ピアノばんそう		伴奏
客をしようたいする		招待	そうぞう性のある仕事		創造
事実をしようめいする		証明	機械をそうさする		操作
敵をせいあつする		制圧	仕事の一翼をになう		担う
本をろうどくする		朗読	あたたかい春の到来		暖かい
せいせきを挙げる		成績	うちゅう旅行		宇宙
發育そくてい		測定	いちじるしい進歩		著しい
そんがいを賠償する		損害	山のいただき		頂き

漢字読みプリント⑪（漢字の訓読み１）

酷い	惨めな	嗣ぐ	赦す	貢ぐ	疎い	漸く	辱める	愚かな	宜しく	虐げる	蓄える	塊	宴	貫く	悦ぶ	飢える	穏やか	詠む	哀しむ
むご	みじ	つ	ゆる	みつ	うと	ようや	はずかし	おろ	よろ	しいた	たくわ	かたまり	うたげ	つらぬ	よろこ	う	おだ	よ	かな
懐	費やす	慕う	倣う	膨らむ	承る	戒める	懲らす	嘆く	滞る	悼む	焦る	促す	訴える	償う	励む	奨める	譲る	如く	暫く
ふところ	つい	した	なら	ふく	うけたまわ	いまし	こ	なげ	とどこお	いた	あせ	うなが	うった	つぐな	はげ	すす	ゆず	ごと	しばら

兼ねる	患う	寛ぐ	虚しい	勧める	抛る	陥る	契る	肝	遺す	詰める	壊す	隔てる	悔いる	縁	慰める	要	拝む	華やか	為す
か	わずら	くつろ	むな	すす	よ	おちい	ちぎ	きも	のこ	つ	こわ	へだ	く	ふち	なぐさ	かなめ	おが	はな	な
潜る	焦る	崇る	尋ねる	衝く	診る	詳しい	潤う	施す	悟る	更に	顧みる	賢い	執る	遣わす	除く	雇う	諮る	懸ける	著しい
もぐ	あせ	たた	たず	つ	み	くわ	うるお	ほどこ	さと	さら	かえり	かしこ	と	つか	のぞ	やと	はか	か	いちじる

誉める	愉しむ	微笑む	崩れる	覆る	妨げる	抱える	漂う	添える	鎮める	篤い	弾む	怠ける	喪う	繕う	葬る	堕ちる	逝く	騒ぐ	粗い
ほ	たの	ほほえ	くず	くつがえ	さまた	かか	ただよ	そ	しず	あつ	はず	なま	うしな	つくろ	ほうむ	お	ゆ	さわ	あら
覆す	賄い	謝る	拙い	慈しむ	虜	彩る	擦る	秀でる	趣	施す	頑な	寿	既に	携える	棄てる	吊う	恭しい	頑な	禍
くつがえ	まかな	あやま	つたな	いつく	とりこ	いろど	す	ひい	おもむき	ほどこ	かたく	ことぶき	すで	たずさ	す	とむら	うやうや	かたく	わざわい

漢字読みプリント②⑩（漢字の訓読み4）

赴く	憤る	卑しい	某	傍ら
おもむ	いきどお	いや	なにがし	かたわ

漢字プリント（新しく加わった常用漢字1）

詣でる	歌舞伎	階調	才媛	曖昧	詮議	憧れる	斬新	傲慢	石窟
もう	かぶき	かいちょう	さいえん	あいまい	せんぎ	あこが	ざんしん	ごうまん	せつくつ

漢字プリント②①（新しく加わった常用漢字2）

餌	痕跡	隙	臼齒	蓋	旺盛	嵐	配膳	尻込み	真摯	あの頃	稽古	亀裂	断崖	艶	宛て	付箋	拭う	恣意	駒
えさ	こんせき	すき	きゅうし	ふた	おうせい	あらし	はいぜん	しりご	しんし	ころ	けいこ	きれつ	だんがい	つや	あ	ふせん	ぬぐ	しい	こま
未曾有	裾野	嫉妬	挫折	拳	布巾	柿	俺	萎える	遡る	必須	叱責	無沙汰	桁外れ	嗅覚	形骸	臆病	畏怖	狙う	芯
みぞう	すその	しつと	ざせつ	こぶし	ふきん	かき	おれ	な	さかのぼ	ひつす	しつせき	ぶさた	けたはず	きゅうかく	けいがい	おくびよう	いふ	ねら	しん

漢字プリント②②（新しく加わった常用漢字3）

瓦	小唄	痩せる	親戚	袖	閉塞	股関節	錦	葛藤	牙	語彙	爽やか	凄絶	呪文	喝采	鍵盤	僅差	顎	過酷	椅子
かわら	こうた	や	しんせき	そで	へいそく	こかんせつ	にしき	かつとう	きば	ごい	さわ	せいぜつ	じゅもん	かつさい	けんばん	きんさ	あご	かこく	いす
肘掛け	鍋	鶴	唾液	謙遜	羨む	一蹴	刹那	喉元	串	鎌	楷書	鬱憤	捕捉	煎る	含羞	柵	虎	危惧	茶釜
ひじかけ	なべ	つる	だえき	けんそん	うらや	いっしゅう	せつな	のどもと	くし	かま	かいしょ	うつぶん	ほそく	い	がんしゅう	さく	とら	きぐ	ちやがま

漢字プリント②③（新しく加わった常用漢字4）

草餅	罵声	充填	一旦	藍色	三昧	遮蔽	虹	溺愛	誰	脇目	辣腕	勃興	訃報	匂い	諦める	堆積	麓	沃土	和睦
くさもち	ばせい	じゅうてん	いったん	あいいろ	ざんまい	しゃへい	にじ	できあい	だれ	わきめ	らつわん	ぼっこう	ふほう	にお	あきら	たいせき	ふもと	よくど	わぼく
明瞭	麺類	哺乳類	氾濫	頓挫	貼る	僧侶	冥福	侮蔑	箸	瞳	精緻	慄然	蜜	完璧	剥奪	妬む	綻びる	浄瑠璃	枕
めいりょう	めんるい	ほにゅうるい	はんらん	とんざ	は	そうりょ	めいふく	ぶべつ	はし	ひとみ	せいち	りつぜん	みつ	かんぺき	はくだつ	ねた	ほころ	じょうるり	まくら

漢字プリント②④（新しく加わった常用漢字5）

静岡	岡山	茨城	山梨	籠	湧く	頬	爪弾く	愚弄	比喻	変貌	眉間	井	進捗	風呂	闇夜	蜂	汎用	食る	嘲笑
しずおか	おかやま	いばらき	やまなし	かご	わ	ほお	つまび	ぐろう	ひゆ	へんぼう	みけん	どんぶり	しんちよく	ふろ	やみよ	はち	はんよう	むさぼ	ちようしょう
						貼付		遮る	喩える	嘲る	剥ぐ	畏れ	妬む	僅か	塞ぐ	羨望	辛辣	諦念	傲る
						ちようふ・ (てんぷ)		さえぎ	たと	あざけ	は	おそ	ねた	わず	ふさ	せんぼう	しんらつ	ていねん	おご

漢字プリント②⑤（新しく加わった常用漢字6）

癒す	粹	鑑みる	逝く	玩具	潰滅	怨念	挨拶	膝	謎	阪神	近畿	鹿児島	神奈川	岐阜	奈良	栃木	埼玉	熊本	福岡
いや	いき	かんが	い(ゆ)	がんぐ	かいめつ	おんねん	あいさつ	ひざ	なぞ	はんしん	きんき	かごしま	かながわ	ぎふ	なら	とちぎ	さいたま	くまもと	ふくおか